

Weekly Report

2023-24



世界に希望を生み出そう

創立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会場 / 江南商工会館1F大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <http://www.konan-rc.com/>
 Mail / konanrc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 富田清孝 幹事 / 木本寛 会報委員長 / 山崎博征



2023年(令和5年) 8月 3日(木) 第2770回(当年度第4回)例会

点鐘
 司会
 国歌斉唱
 ロータリーソング斉唱
 四つのテスト斉唱

会長 富田 清孝君
 SAA 濱島聡一朗君
 「君が代」
 「奉仕の理想」
 田中 健君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶



会長 富田 清孝君

こんにちは。最近ビッグモーターのことがよくニュースにとりあげられていますが、修理に持ち込まれた車を更に傷を付け損害保険の会社を巻き込み不正を会社ぐるみで働いていたと言うことです。このようなこと事がおきると一般ユーザーの保険料がどんどん高くなるわけです。ニュースを見るたびに思うのですが、この会社は拝金主義で道徳が無いと思いました。こんな会社には決してしてはならないと思います。

少し話は変わりますが皆さんプロボノという言葉を知

ってみえるでしょうか。私はだいが前に中日新聞でこの言葉を見つけました。トヨタ系の会社の一つの取り組みとして載っておりましたが、プロボノとは各分野の専門家が職業上持っている知識やスキルを無償提供し、社会貢献するボランティア活動のことです。これはラテン語のPRO、BONO、PUBLIKOからきているそうです。ロータリーの奉仕とはやや違いますが、これはこれで素晴らしい事だと思います。この様な言葉・活動が、社会に広がるといいなと思いました。皆さんの会社、事業所にどうでしょうか。

又、今日も宜しくお願いします。

幹事報告 -別紙- 幹事 木本 寛君

祝 福 委員長 中村 耕司君

出席報告 委員 近藤 道磨君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	39名	9名	86.67%

ニコボックス 委員 近藤 道磨君
 ○地区出向者の皆様、地区出向者紹介をよろしくお願
 い致します。井口凜俐さん、ようこそ江南ロータリー
 クラブへ！

富田 清孝、波多野 智章、木本 寛、三輪 慎一郎君

○本日、地区出向者自己紹介させていただきます
 片平博己君

○本日の卓話させていただきます。よろしく御願
 い申し上げます。

杵本 哲一君

○本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願
 い致します。

南村 朋幸君

○富田年度、地区出向者紹介宜しくお願いします。交換留学 派遣候補生 井口凜俐さん よこそ江南ロータリークラブへ

倉知 正憲、松岡 一成、庄田 元久、杉浦 賢二、伊藤 靖祐、沢田 昌久、長瀬 晴義、中村 耕司、岩田 進市君

青少年交換派遣候補生挨拶



青少年交換派遣候補生 井口 凜俐さん

卓話

「地区出向者紹介」



ロータリーフードフェスタ実行委員長
ロータリー財団監査委員長
地区拡大委員会

伊藤 靖祐君

本年度の地区でいただいております役職は、ワールドフードふれ愛フェスタ(WFF)実行委員会が今年度よりロータリーフードフェスタ(RFF)実行委員会とネーミングが変わりました委員会委員長、ロータリー財団監査委員会委員長、地区拡大委員会委員です。RFF 委員会は来年 4 月に栄のエディオン久屋広場・エンゼル広場で WFF とは少し趣向を変え、ロータリーが主催であることの冠を付けてリスタートします。予算規模が 4 千万円と地区をあげての大きなイベントであり、ポリオ根絶のためのファンドレイジングです。ポリオ根絶活動の一環ですので、当日のチケット販売および広告協賛などのご協力、当日の会場での例会開催などのご協力をよろしくお願いいたします。

ロータリー監査委員会は財団補助金が正しく使われているか監査をする委員会です。先日昨年度分の監査が終

わりました。昨年度は地区内 84 クラブ中、60 クラブが財団地区補助金を活用し、クラブ奉仕事業を行っています。

地区拡大委員会は神野パストガバナーが委員長で、地区で新クラブ、あるいは衛星クラブの結成をお手伝いしています。

出向ではありませんが、国際ロータリー(RI)の役として 3 年任期で第 2 地域ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)を拝命しております。第 1 から第 3 地域までの日本を 3 人でロータリー財団の取りまとめをするのみならず、RRFC はガバナー研修、ガバナーエレクト研修を地域リーダーとして担当し、日本 34 地区のガバナーのレベルを上げられるよう 2 月に RI 本部のシカゴで研修を受けてきました。

ZOOM での会議で移動時間をとられることがなくなりましたが、それでも東京、神戸等でガバナー研修、地域リーダー会議等に出席が義務づけられており、例会を欠席することもあります。江南ロータリーの存在感を高められるよう活動したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



地区社会奉仕委員会 副委員長

片平 博己君

本年度は、地区社会奉仕委員会副委員長にて出向しております。

委員会は 3 つの小グループに分かれており、社会奉仕グループ、環境保全グループ、RCCグループがあり、それぞれに副委員長がリーダーとなっています。私は環境保全グループ担当です。

昨年度はガバナーの基本方針に「海洋プラスチックごみ問題」が取り上げられていたので、佐久島で漂流ごみの清掃と「海洋プラスチックごみ問題」についてのセミナーをアクトクラブやインターアクトのメンバーを対象に行いました。しかし、今年度は環境保全についての方針のようなものはないので、正直頭を痛めています。あまりに範囲が広く、何をテーマにしても付け焼刃のような気がするからです。

クラブが取り組むとすれば、地元密着型で「ごみ拾い」や「リサイクル」についての取り組みが考えられますが、地区としては気候変動などもっと広範囲な問題について学ぶ機会を作っていくか、継続的な取り組みをさせているクラブや団体を紹介しクラブでの活動の参考にしていくことではないかと思っています。

いずれにしても、地区内クラブの例会に卓話に伺うこともあるとの事なので、それまでにしっかり学んでおかなければと思っています。

よろしくお願いいたします。



地区防災対策委員会

榎本 哲一君

本年度のR. I. D2760 防災対策委員会は本クラブの南村朋幸君を委員長に、名古屋名駅ロータリークラブの伊藤満琉君を副委員長にすすみます。

関東大震災(1923年(大正12年)9月1日11時58分32秒発生。死者・行方不明者は推定10万5,000人。明治以降の日本の地震被害としては最大規模の被害)から100年である 本年度委員会のテーマは「命を守る」を最重要課題として取り組む方針です。

理由は、

①本人、家族の命をまず守らない限り いくら災害対策をしても結果に繋がりにくい、しいては会社、事業、社員を守れず、B. C. P. に結びつかないからです。

②地域によって 災害の最優先課題が異なるからです。

確認事項としてロータリークラブとして各分区、クラブ毎に どの様に行政・地域に係わるのか、各々優先順位が異なる為、「南海トラフ地震」に特化しない点を確認しました。

活動として

行政・企業と接点を持ち、その活動に参加、行政防災対策関係者に本委員会で説明、卓話をして頂く予定です。

本年10月25日 第二回防災対策委員会では 愛知県の行政・南尾張分区の行政・西尾張分区の行政をテーマに 中部電力の防災担当者に本委員会で電力会社としての取組を卓話いただく予定です。



地区防災対策委員会 委員長

地区ロータリー奉仕委員会 副委員長

南村 朋幸君

こんにちは。

本年度、ダブルで地区に出向させて頂いています南村です。

まず一つ目は、地区防災対策委員会委員長のお役目を拝命しております。先ほど話された榎本さんと一緒に出向させて頂いております。このお役目は、地区幹事歴任者で回す慣例があり、本年は私の順番という事で務めさせて頂いております。今回、内容的には本年度酒井ガバナーの方針のもと、前年までの流れとは大きく変わりました。そもそもこの委員会が出来た切っ掛けは、2017年神野ガバナーの時に愛知県との間に「愛知県の防災取り組みに対する地域防災力向上の相互協力に関する協定」が結ばれました。その協定には大きく一つの目的と三つの手法が明記されておりました。まず目的は「大規模災害に備える地域防災力の向上及び取り組みの活性化」であります。その目的を達成する為、①愛知県が実施する地域防災イベント等への参画や協力。②愛知県民への防災意識の啓発及び防災知識の普及。③災害時における国際ロータリーのネットワークを活用した支援及び情報共有。以上、この3つの手法を用い活動していきます。最初の取り組みとしては、まずは必ず来るであろう「南海トラフ大地震」に備えるべく地区内のロータリアンを対象に、知識を共有して意識の醸成を図るため、卓話の派遣という形で活動を行ってきました。ほぼ6年の時が過ぎ、ここで酒井ガバナーが方向転換をかけ、卓話の派遣にこだわることなく、せつかく各分区から委員会に出向頂いているならば、その地域に則したスペシャリストを育てる期間に当て嵌めても良い、とご下知頂きました。したがって、本年一年は原則卓話者派遣を行わず、知識を吸収する一年とさせて頂くこととなりました。今までとは勝手が違う取り組みに少々の戸惑いはありますが、模索しながら心強い榎本さんと一緒に活動してまいりたいと思います。

次に地区ロータリー奉仕委員会副委員長のお役目についてです。このお役目もある意味、地区幹事をさせて頂いた“お釣り”とでも言いましょうか。伊藤パストガバナーの関係でお引き受けさせて頂いたお役目でして、これが意外に大変なお役目なのです。と言いますのも、まず地区ロータリー奉仕委員会というのは、主に青少年系の地区委員会を束ねる委員会でございます。過去の委員会の活動を見てもどの委員長さんも情熱的でしかも長年に亘って委員会活動に携わってきた方ばかり。とても自身の活動に思い入れが深く、スケジュー

一丸的にも激務な活動を有する委員会となります。
副委員長は私を含め4人おりました、名古屋栄のガバナー補佐をされていた牧野さん、次の次にガバナーに内定している蒲郡の鈴木さん、豊橋の青少年の申し子佐藤さん、そして私なのですが、この4人でそれぞれの委員会を受け持っており、私の担当は、RYLA 委員会と国際奉仕委員会の2委員会を受け持っております。
なかなか RYLA と言っても理解されていないメンバーも多い中、まずはこの RYLA という言葉の意味ですが、Rotary youth leadership awards(ロータリーユースリーダーシップアワード)の頭文字を取った略称であり、ロータリーが主催する青少年リーダーシップトレーニングプログラムです。このプログラムは、若者たちにリーダーシップやコミュニケーションスキルを向上させ、社会貢献の意識を高めることを目的としています。参加者は様々な活動やワークショップを通じて成長し、地域社会や国際社会への参加を促すことを目的としています。
もう一つの国際奉仕委員会に関しては、先ほどの防災対策委員会同様、酒井ガバナーの方針により大きく流れが変わろうとしています。
今までの国際奉仕は、国際奉仕委員会が主体性をもって、自ら海外へ出向き実際の国際貢献活動を行ってくる、というのが定説でした。
しかしながら、地区というのは所属するクラブの為にあり、クラブの為に何を為すべきか、ということに原点回帰し、直接海外に行ってトイレや学校を作るといった活動はせず、そういった活動をクラブに促したり、情報提供したり、または主体性をもって行かれるクラブのお手伝いをするという方向に大きく変わったのだそうです。
この方針を聞き、近年までこの委員会で頻繁に継続されていたラオスとの交流も行かなければならないと覚悟をしていましたが、どうやらマストで行くことにならない心配もしてきたのでホッと一安心しているところです。
このように、今までは違う視点で地区の委員会活動に携わり、まだまだ分からない・知らないこともたくさんあると思いますが、私なりにうまくクラブにフィードバックできるように頑張ってみますので、皆様の暖かいご支援をお願い申し上げます。
ありがとうございました。

本日の食事



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



**ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら**

写真等ございましたら会報までお知らせください。

(担当 田岡 剛)